

# 寄せられた意見

No. 62

受付日	H17. 9. 2	年齢	58歳	居住 市町村名	下川町
件名	意見書				

## 意見書

平成17年9月2日

天塩川流域委員会事務局 御中

天塩川整備計画原案並びに道道の付替工事の決定に対する喜びの意見を申し上げます。

### 1. 意見申込者

下川町 年齢58歳（男）

### 2. ご意見

この度、第7回天塩川流域委員会において、天塩川整備計画の原案が提示され、その中でサナルダム治水や環境対策から、重要な施設として位置づけられた事は、地元住民としても大変喜ばしいことであり、私ども下川町民はもとより、中流域や下流域の方達にとっても治水対策として大変期待されるものであり、地域住民にとってもどれほど喜ばしいことかと思われます。

また、平成17年度の道道付替工事が始まるようではありますが、地元として一日も早い本体着工を期待しており、さらに地域振興からも工事が始めれば地域経済にとって少なからず期待できるものと思っているところであります。

昨今、テレビ・新聞等で報道されておりますが気象庁によると、高知県四万十市では今年最高気温となる39.7度を記録したと発表され、高気圧続きの中で、高知県は晴天続きとなり、香川県などに水道水を供給している早明浦ダムの利水水分が枯渇することから、政府は渇水対策関係省庁会議を開き、発電用水を水道用水へ転用することも確認されるなど、深刻な状況下であり、逆にまた、8月後半に入り台風が急増し、東北地方は低気圧の影響により大雨被害が発生するなど、地球温暖化が進む中、豪雨は全体的に激しくなる一方、年間降水量の変化は地域差があり、渇水と水害の危険性が同時期に高まると懸念されているところであります。

そのような深刻な中で、下川町は今年4月から町の森林（もり）づくり寄付条例を制定し、町内外から多くの善意が寄せられ、現在善意総額は631万円となっており、このことから地球温暖化の原因物質、二酸化炭素を吸収する森林整備推進をすることにより、下川町が将来にわたって緑豊かな森林を守り、環境保全と社会的貢献に寄与して参ります。

以上のことに鑑みて、今後もサナルダム建設にあたっては、一日も早い完成の切望と同時に計画原案と道道工事の喜びを申し上げ、今後一層の関係各位のご尽力を期待するものであります。

※ 箇所は、個人情報等に該当するため黒塗りしています